



GO!剛!ニュース19号は  
映画「フィールドオブ  
ドリームス」を彷彿させる  
グローバルアリーナに  
関してです!

## グローバルアリーナの価値は

グローバルアリーナ(以下GA)はサニックススポーツ振興財団が所有する総合的なスポーツ・文化施設で(株)サニックスの創業者であり1月に御逝去された宗政伸一氏が80億円もの私費を投じて平成12年に完成しました。その使命は自己責任、協調性、挑戦の精神で自立心あふれる青少年の育成とされ、宗像市は「本来行政で行うべき公益性を有した取組を行い、多大な貢献と貴重な財産を残している」と認識しています。

スポーツに関しては「もし日本が世界に誇れるラグビーの宝物とは何かと問われたら、即座にサニックスワールドラグビースタジアムだと答えるだろう」と賞されるラグビーをはじめ、サッカー、新体操など109の国際大会を含む競技大会を行い、世界の青少年が「グローバルで会おう」を合言葉に切磋琢磨しています。次世代アスリートの養成や観戦交流機会だけでなく、ここで得た夢や希望、感動の醸成は子ども達の心に浸透し、伝わり、広がります。

グローバル人材育成に関しては、国際大会やブルガリアフェスティバルにおける文化交流、雰囲気を活かしたイングリッシュサマーキャンプ等の語学研修、日本の次世代リーダー養成等々の全国規模の連携事業、など多くの事業が開催されています。これは世界を間近に感じ視野を広げるきっかけとなります。

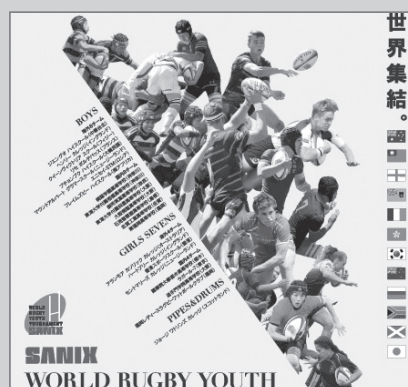
また、GAの理念と目的が宗像の目指すグローバル人材像と重なることから、17年実績のある先駆的存在として道標となります。また、都市イメージ、地域コミュニティや教育面での貢献など、その価値は多方面に及びます。

ある方が「宗政伸一氏は出光佐三翁と並ぶ宗像の偉人である、出光は教育大を残し、宗政はGAを残した」と言いました。青少年の育成のため無私の精神で行った積み重ねが文化にまで昇華している価値を理解し、受け継いでいく義務があると考えます。

# GO!剛! NEWS!!

政務調査報告書

## 第19号



サニックススポーツ振興財団の目的は、一人でも多くの青少年にスポーツと接する機会を与え、青少年の健全育成を図るとともに、地域社会の健全なスポーツ文化の発展に寄与することであり、その理念は、青少年がスポーツを通じて社会生活に必要な協調性や忍耐力、そして礼儀などを身につけ、人として豊かに成長することを願い、地域社会に健全なスポーツ文化を根づかせるため尽力する、です



日本代表ヘッドコーチ、ジェームージョセフ氏をはじめ、宗像ゆかりのトップ選手を集めたトークライブが行われました。中鶴選手、福岡選手、樺島選手は玄海ジュニアラグビークラブ出身でサニックスが無料提供した芝生のグラウンドでラグビーに出会い、成長して世界のチームと戦い、トークライブでは子ども達に夢と希望を与えました。まさに、グローバル人材といえます。

## サニックススポーツ 振興財団貸付事業費の 審議に関して

平成29年度予算の審査では、一般財団法人サニックススポーツ振興財団への5億円の貸付に関して議論がされました。この事業費はグローバルアリーナ(以下GA)に新たな宿泊棟を建設するため、総工費10億円のうち、5億円を無利子で財団法人に貸し付けるものです。

前提として、前述したGAの価値を理解し、多数の雇用と経済波及効果、公益性があるにもかかわらず宗像市は財政的支援を一切行っていない現実を知るべき。平成28年度6月議会の一般質問で行った民間の活力利用で述べたように、行政は伝統的に公平性を基本としているが、地方創生においては、行政がスタンスを変えて積極的に民間の能力を活用し新しい価値を創造すべき、施策に深く関わり貢献度の高いGAとの協働を深めるべき、と考えました。

私の主張は、宿泊棟建設により青少年向けの施設が、トップアスリートや高齢者、障がい者等に対応できるようになる。いままでの活動が全方面に広がり、価値と経済波及効果が更にあがる。ラグビーW杯、オリンピックパラリンピックという時代の流れにのった投資である、でした。【右上へ続く】

また、指摘された課題に対しては以下のように考えました。

- 前例が無く、執行部の議論不足
- 未来への挑戦でありスピード感も必要
- 銀行が融資していない
- ビジネスとしては融資条件があわないのは公益性が高いから。その価値を判断して市が貸付をするのは妥当。
- リスクが高い
- 事業計画は返済可能であり、GA所有の土地は十分な担保となる。予算成立後には融資業務の専門家による審査会を立ち上げ融資の可否を判断する予定でリスクはあるが将来的に有益な投資
- 短期間の審議では不十分
- 今のまま何もしないのもリスク。今が投資をする分岐点。

結果としては予算第一特別委員会、本定例会共に貸付に反対が多数となりました。

手続き論や目先のリスクではなく、それが将来の宗像にとってプラスになるかどうかを判断すべき、価値を見定め、現在のリスクを考え、時代の流れを読み、行うべき投資だと討論しましたが、非常に残念でした。

しかし、GAの公益性は共通認識となりました。今後はこの認識を市民にも広め、宗像の宝物、と世界に誇れるよう尽力していきます。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！



日々の活動はfacebookにて  
[fb.me/goyo4da](https://fb.me/goyo4da)



吉田ごうのホームページ  
[non3.jp/yoshidago](https://non3.jp/yoshidago)



一般質問の会議映像は  
宗像市役所HPにて



### 宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ  
東郷小学校～中央中学校卒業

平成3年 宗像高校卒業

平成8年 福岡大学経済学部卒業

平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)  
入社、平成24年6月退社

平成24年 10月、宗像市議に初当選

平成28年 宗像市議に再選を果たす

現在 宗像市久原に在住  
自民党宗像市支部青年局長  
東郷地区青少年指導員会長

### 吉田ごう議員活動ダイジェスト

平成29年1月▶2期目の新年を迎え、理想を現実にする年になるよう決意を新たにしました。

2月▶故宗政伸一氏お別れ会に参加しました。謙虚で見返りを求めず、純粋に青少年育成に尽くすお人柄を惜しむ声が聞こえてきました。グローバル人材が周囲に影響を与えるように私たちにも純粋な想いが伝わります。今、生きている私たちは何をすべきか、深く考えます。

3月▶16日で44歳になりました。が、誕生日を忘れるくらいハードな3月議会でした。